

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL				科目コード	T1320C4		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	武田 春美	履修グループ	2A(JT/KS/KW/SI)				授業方法	演習		
実務経験の内容	流通系IT企業でシステムエンジニア、プログラマとしてWindows版POSレジの開発に2年従事。CUIからGUIの変換時期であったため、それまでC言語で作成されていたPOSシステムをもとに、VisualBasicで商品情報、顧客情報などのマスタ登録画面を仕様書作成からプログラミング、単体テストなどを行っていました。実務経験をもとに、実際の現場をイメージしやすいよう具体的な話をまじえて授業をすすめていきたいと思っています。									
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成します。									
授業の概要および学習上の助言	基本的なSQL SELECT文の作成、INやLIKEなどの演算子を利用したデータの検索条件を定義、各種関数でデータを加工、複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。									
教科書および参考書	講義ノート									
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Webブラウザ(Oracle Live SQL)									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる								
	1/2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる								
	3	なし								
	4	なし								
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30			30				60
		2.思考・判断	30							30
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
総合評価割合	60				30			10	100	
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	授業期間中にペーパー試験を実施します(持ち込み有り)。 SQLの作成、SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う。 60点
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	1章～2章 LiveSQLの使用方法 実習で使う表(EMP、DEPT)の解説 リレーショナルデータベースとSQL SELECT文を使用したデータの取得	講義・実習	実習1(2章)
第2回	3章 データの制限およびソート	講義・実習	実習2(3章)
第3回	4章 単一行関数	講義・実習	実習4(4章・5章)
第4回	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定	講義・実習	実習4(4章・5章)
第5回	6章 グループ関数とデータの集計	講義・実習	実習5(6章)
第6回	1章～6章までの復習 実習問題 提出	講義・実習	実習1、実習2 実習4、実習5
第7回	7章 複数の表からのデータの取出し	講義・実習	実習6(7章)
第8回	8章 副問合せによる問合せの解決方法	講義・実習	実習7(8章)
第9回	10章 データ操作とトランザクション制御	講義・実習	実習8(10章)
第10回	11章 DDLを使用した表の作成と管理	講義・実習	実習9(11章)
第11回	11章 DDLを使用した表の作成と管理	講義・実習	実習9(11章)
第12回	7章～11章までの復習 実習問題提出	講義・実習	実習7～実習11
第13回	確認テスト	筆記	
第14回	課題解決型授業 I 実習問題	遠隔授業 実施時期:1期	授業内容を復習

第15回

課題解決型授業Ⅱ
実習問題

遠隔授業
実施時期:3期

授業内容を復習